



埼玉県議会議員

山口京子

発行:埼玉県議会自由民主党議員団

ご挨拶

令和2年2月、日本ではじめての新型コロナ陽性者が確認され、ダイヤモンドプリンセス号の水際対策が連日報道されました。しかし、それ以降は陽性者が増え続け社会の営みが一変しました。

現在も第3波と言われ、陽性者が増え続けています。新型コロナ対策と経済対策のバランスをいかにとっていくか、医療現場への支援や子供たちの学びと育ちの場の確保など多くの課題が山積し、来年も続きます。

今後も皆様の声をいただいて一生懸命に県政につないで参ります。皆様方におかれましては「新しい生活様式」を守りつつ、来年が素晴らしい年明るい1年になりますよう心からお祈り申し上げます。

▶ 県議会9月定例会では一般質問を行いました。

本号では3頁以降に質問の概要を掲載しましたので、どうぞ一読ください。

皆さまのご感想やご意見、県政に対するご要望などをいただけると幸いです。

今年度の所属委員会

総務県民生活委員会・人材育成・文化スポーツ振興特別委員会
決算特別委員会



県議会9月定例会報告



新型コロナ専用仮設病棟の整備に着手

【第7号】	877億4,996万2千円
一般会計補正予算 【第8号】	21億3,961万1千円
【第9号】	414億7,054万5千円



前回補正に次ぐ大型補正予算で体制強化へ

県議会9月定例会は9月24日に開会し、一般会計補正予算【第7号】877億4,996万2千円、【第8号】21億3,961万1千円、【第9号】414億7,054万5千円の計上などを議決し、10月14日に閉会しました。（一般会計補正後累計 2兆3,083億9,014万4千円）

新型コロナウイルスの感染が警戒を要するレベルで続く中、補正予算【第7号】では専用医療施設の整備をはじめとする入院医療機関の体制強化のため、690億9,323万3千円の計上を決めました。具体的には、新型コロナウイルス感染患者専用の仮設病棟を運営する医療機関を公募し、その医療機関の敷地内や隣接地にプレハブを建て、約320床を確保していく計画です。また、入院医療機関への支援はもとより、人工呼吸器やECMO（エクモ）等の設備整備への支援もさらに強化していきます。

その他、県内景気が急速に悪化していることから、経済活動の回復と「新しい生活様式」への対応として、観光関連事業者への支援や中小企業のオンラインでの販路開拓への支援策等に6億89万3千円の予算が盛り込まれています。



高齢者のインフル ワクチンを無償化へ

補正予算【第8号】では、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクの高い高齢者などを対象に、インフルエンザのワクチン接種を無償化するために、21億3,961万1千円の予算計上を決めました。

無償化の対象となるのは65歳以上の高齢者と60歳～64歳の基礎疾患のある方などです。インフルエンザの流行がピークとなる1月～2月頃に備えるため、期間は10月～12月としています。



かかりつけ医での 診療・検査体制を整備へ

補正予算【第9号】では、身近な医療機関で新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方を診療・検査できる体制の整備をはじめ、重点医療機関の病床確保に対する助成費の増額、抗原検査費用の増額、生活福祉資金の特例貸し付け事業への補助金の増額など、414億7,054万5千円が計上されています。

新型コロナに関しては、これまで保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」で対応していましたが、これからは発熱などを訴え、新型コロナかインフルエンザかの判断が難しい患者が増えると予想されるため、地域のかかりつけ医を窓口とすることで、より多くの患者に対応して検査できるようになります。なお、両方を診ることができる医療機関は、県が地域の医師会と協議の上指定し、随時発表しています。



埼玉県指定 診療・検査医療機関

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの両方を診察します。

蓮田市内の医療機関一覧

- 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- 西村内科クリニック
- 医療法人悟明会田口医院
- おだ内科
- 医療法人社団愛友会蓮田一心会病院
- 医療法人顕正会蓮田病院
- 医療法人心喜会蓮田外科
- 医療法人須田小児科内科クリニック
- 医療法人社団桃季会佐々木耳鼻咽喉科眼科
- 本田内科医院
- 井上医院



詳しくは [埼玉県指定 診療・検査医療機関](#)

🔍 検索

県に対し幅広く提言・要請を行いました



先に開催された県議会9月定例会では一般質問に立つ機会をいただき「子供医療費の助成について」や「都県をまたいだ災害協定について」等のほか、地元問題として「蓮田松韻高校の魅力ある学校づくりについて」「警察署の誘致について」など幅広く県に対し提言・要請を行いました。

本号では質問の主旨を掲載しました。どうぞご一読いただき、皆さまのご意見や、県政に対するご要望などをいただけると幸いです。

子供医療費の助成について

Q 山口県議

子供に対するサービスは全国一律、公平に行われるべきです。居住地により医療に格差や、医療費の自己負担に格差が生じることは適当ではありません。しかし、関東1都6県中、埼玉県のみが、入院・通院とも就学前までです。他の都県は助成の対象枠を広げ、群馬県は15歳の年度末までです。この差は为什么呢?! 医療費の助成拡大については、現在、県内すべての市町が15歳または18歳まで助成を拡大しています。6歳以降はそれぞれ市町の単独費用で市町村間の競争にもなっています。にもかかわらず県は14年間枠の拡大の見直しを行っていません。昨年だけでも4人の議員から質問がありました。

昨年の県の答弁は、子育て支援のナショナルミニマムとして国が統一した制度を創設するように要請して参りますとの事だが、知事も代わった今、国への要望はもとより、どのような議論が成されたのか伺います。また、国への要望をいつまで続けていくのか、国がしなかったときはどうするつもりなのか答弁ください。

A 大野知事

対象年齢の引き上げについて、中学校卒業まで引き上げた場合、29億円程度の予算が必要になります。そのため現地点での引き上げは難しく、現在の政策を維持していきたいと考えています。

国への要望については、引き続き各都道府県とも連携をし、実現まで粘り強く要望してまいります。しかしながら、国が行わない場合には、地方単独事業としてこのまま実施せざるを得ないと考えています。



非常に残念ながら納得できる答弁ではありませんでした。「国に何年要望し続けるつもりなのか、要望が実現しない場合にはどのようにするのか」と再質問もしましたが、知事は「期限は切れない」「現在の支援を継続していく努力を維持したい」と繰り返すのみ。この問題に真摯に取り組む姿勢は感じられません。

広く市民の皆様の声をいただきながら、県への要請を強めていきたいと考えています。

都県をまたいだ自治体間の災害協定について

Q 山口県議 災害協定は、さいたま市と戸田市が市をまたいでの避難計画を立てていたり、豊島区と東武沿線各市との協定や三郷市と葛飾区などの事例があります。都県をまたいで災害協定を結ぶことで、よりきめ細やかな具体策も実現されるのではないのでしょうか。平時からの広域的な結びつきが、顔の見える関係をつくり、いざとなったときに相互応援し合える仲間になります。

都県をまたいだ市区町村の防災協定の締結を推進することについて、県がコーディネーターとしてマッチングを促していく必要があると考えますが、知事の見解を伺います。

A 大野知事 都内市区町村と災害時応援協定を結んでいる県内市町村は令和2年4月1日現在、22団体あります。また本年6月には、行政課題について意見交換を行う「東京・埼玉連携会議」を設置しました。会議には「防災部会」も設け、物資支援体制の強化や帰宅困難者対策などをテーマに検討しているほか、相互のサテライト事務所の開設にも合意しています。

同部会での検討状況を県内市町村へ積極的に提供し、市町村の自主的な取り組みを後押ししていきます。



県防災訓練の様子

12月定例会は11月30日から12月18日まで開会しています。

次号には山口京子の一般質問のうち、今回掲載できなかった4問の質問を掲載する予定です。

- インクルーシブ公園の整備とプレーパークの推進について
- 犬猫の殺処分ゼロを目指すその先の取組について
- AYA世代の若年がん患者の支援について
- 河川沿いにある桜並木について



埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システムについて

埼玉県では、発熱患者が迷わず地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ両方の診療・検査を行うことができる医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。

詳しくは [埼玉県指定 診療・検査医療機関](https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html)

検索

ウェブサイト:<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html>



新型コロナで心配・不安を感じたらご相談ください

埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターへご相談ください。
新型コロナに関するご相談に一元的に対応しています。

※聴覚に障害のある方をはじめ、電話でのご相談が難しい方は、ファックスをご利用ください。

24時間
土日・祝日も
対応

☎0570-783-770 ■埼玉県保健医療部感染症対策課 Fax048(830)4808

地元問題

(1) 黒浜公園周辺の整備と一体となった魅力ある高校づくりについて

Q 山口県議 蓮田市は黒浜公園及び周辺地域において、大規模な公園の整備を進めています。人々の新たな交流の拠点として、野球場やテニスコート、アウトドア体験施設、イベントを行えるステージなど、全体で10haの公園になります。この黒浜公園に隣接して、県立蓮田松韻高校があります。市では公園整備と併せて周辺の道路整備も進めており、これにより通学の安全性が高まるだけでなく、バス路線の延伸による利便性の向上も期待されています。生徒保護者からも、バス路線の延伸を求める要望書が市に提出されています。道路整備を円滑に進めるためには、県教育委員会の協力も欠かせません。周辺道路整備について県教育委員会と蓮田市の協議状況について伺います。

蓮田松韻高校には、蓮田市が国から取得し、県に無償で寄贈した土地も含まれています。そこで、市内唯一の県立高校として、地域に開かれた地域と共存する街の目玉としての学校づくりを考えて頂きたい。地域と一体となった魅力ある県立高校づくりについて、ご見解を伺います。

A 教育長 現在、蓮田市では道路整備のための用地測量などの準備を進めていると伺っています。蓮田市から協議の要請があり次第、積極的に協力してまいります。

地域と一体となった魅力ある高校づくりについてですが、蓮田松韻高校では「はすだ市民まつり」や「蓮田マラソン」など、地域のイベントに生徒が参画したり、「無事カエル」と名付けたマスコットを手づくりし、交通事故防止キャンペーンにも協力しています。生徒が地域と一体となって取り組むことは、高校と地域の連携を進めるとともに、生徒にとっても地域に貢献している実感が得られるなど、貴重な体験となっています。

高校と地域との連携をより一層進め、地域に愛される魅力ある高校づくりを推進してまいります。



(2) 警察署の誘致について

Q 山口県議 蓮田市の市民アンケートで警察署の誘致は必ず上位に入ります。蓮田市の管轄は岩槻警察署です。岩槻区はさいたま市にあり、警察署の力をお借りして各種イベントやキャンペーン等を開催するときにも課題があります。さらに、圏央道の4車線化を令和6年に控え、企業誘致の活発化等により主要道路は益々混雑するでしょう。市内には国道122号バイパスが通っていますが、国道122号沿いには、警察署は加須市までありません。蓮田市、白岡市、伊奈町はベッドタウンですが、警察署の空白地域でもあります。

県民の安全安心の重要拠点、拠り所としてぜひ警察署を誘致したいと考えています。警察署を新設する基準について伺います。

A 警察本部長 警察署新設の検討にあたっては、治安情勢や人口推移、交通網等の他、当該地域における警察署の管内情勢等を勘案して総合的に検討することとしています。令和元年における人口千人あたりの刑法犯認知件数では、蓮田市は県下平均を下回っています。蓮田市に隣接する市町を加えても同様です。また、過去3年における刑法犯認知件数は減少傾向にあります。

将来的なことは申しあげられないが、その時点で治安情勢等を踏まえ、警察署新設の必要性を検討していくものと考えます。交通事故やオレオレ詐欺の被害防止については、市や地元住民の方々と連携し、しっかり市民の安全安心の向上に努めていきます。



埼玉県LINEコロナお知らせシステム

県内の不特定多数の人が利用する施設や店舗、イベントで、新型コロナウイルス陽性者と濃厚接触した可能性のある方にお知らせするシステムです。施設や店舗等にQRコードを掲示し、その場所を訪れた方にQRコードを読み込んでいただきます。後日、その施設や店舗、イベント会場等を訪れた方が新型コロナウイルス陽性となった場合、保健所の判断により、その方と濃厚接触した可能性のある方に対して、相談を促すメッセージをLINEでお送りします。皆さまのご利用をお願いします。

事業者の皆さまへ

次のアドレスの発行フォームから店舗等の情報を登録すると、QRコードが発行されます。 <https://saitama.qr.liny.jp/entry>

新しい生活様式

新型コロナウイルスの感染予防のためには「新しい生活様式」を心掛けることで、感染症の拡大を防ぎ、自分の、みんなの「命」を守ることにつながります。

基本1

社会的距離の確保

離れて



お並びください

基本2

マスクの着用

マスク着用



(食事中以外)

基本3

手洗い

手指の消毒に



ご協力ください

- 人との間隔はできるだけ2m空ける。
 - 会話をする際は可能な限り真正面を避ける。
 - 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ※高齢者や持病があり重症化リスクの高い人と会う際は、体調管理を普通より厳重に。

■埼玉県政に対する意見や要望など、皆さまの声をお寄せください。

山口京子県政調査事務所

蓮田市本町6-7 サンクヴェール506 TEL・FAX 048-876-8776

mail:info@k-yamaguchi.com

ホームページ <http://www.k-yamaguchi.com>

